

## 第13回ミナミ活性化協議会代表者会議結果

### 1 日時

平成30年1月27日（土）午後2時30分から

### 2 場所

オ・セイリュウ 地下2階 BRASILIA

### 3 出席者（敬称略）

役 職	氏 名
大阪府副知事	竹内 廣行
大阪市長	吉村 洋文
大阪府警察本部長	廣田 耕一
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本 敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福長 徳治
大阪商工会議所副会頭	鳥井 信吾
一般社団法人関西経済同友会常任幹事・事務局長	廣瀬 茂夫

### 4 意見交換

#### ○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

このミナミ活性化協議会代表者会議は、平成17年の第一回目の会議開催以来、今回で13回目となる。協議会設立当時のミナミは、カラス族と呼ばれる風俗店の客引きが横行し、違法風俗店や風俗案内所の乱立、放置自転車やはみ出し看板など、様々な問題を抱えていた。

そのような中、「風情あるミナミの街を取り戻したい」、「ミナミの街を自分たちの手で良くしていこう」という地元の熱い思いから、平成17年2月に地元商店会や地域振興会などで構成する「ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会」を設立した。

それ以来、我々地元では『みんなでつくろう ええ街ミナミ』をスローガンに掲げ、夜間パトロールの実施や、はみ出し看板等の解消に向けた自主規制を行ってきたほか、「地域のルールづくり」に取り組んできた。その結果、平成22年には、用途を制限した宗右衛門町地区地区計画条例が制定され、宗右衛門町通りの無電柱化と石畳化が実現した。また、平成25年には、心斎橋筋商店街において景観協定、一昨年8月には、戎橋筋商店街において建築協定が締結されている。

このように、地元としても、商店街のブランド力向上とにぎわいある健全な街づくりに向けて精力的に取り組んでいる。関係行政機関、経済界においても、環境浄化に向けた違法な客引きの取締り・規制や放置自転車対策、魅力とにぎわい創出に向けた事業や支援など、数多くの取り組みを行っていただき、地元としても、大変感謝している。

本日は、私からは、ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会を代表して、「安全安心で快適なまち」「魅力とにぎわいのあふれるまち」の2つの観点から、現状と問題提起を行い、積極的な意見交換を行いたいと思う。

協議会の設立当初から問題となっている客引きについては、ミナミを訪れる方々の体感治安を悪化させる要因の一つになっていることから、昨年も様々な対策を講じていただいたところである。大阪府警察においては、南警察署による違法な客引きの取締りに加えて、府下捜査員を集中投入しての一斉取締りや、年末には機動隊の投入、さらには、未成年者のガールズバー従業員への一斉補導、大型バカラ賭博店の摘発などもしていただいている。このように、大阪府警察総体でミナミの環境浄化に取り組んでいただいていることに、地元としても大変心強く感じており、厚く感謝を申し上げる。

大阪市においても、平成26年に全国初となる客引き適正化条例を制定されて以降、昨年4月からは指導員が増員され、より手厚い巡回・指導を行っていただいている。また、昨年6月に改正した条例に基づき、店舗や客引きの専門業者に対しての立入調査が行われるとともに、確信犯的に客引きを行う悪質な飲食店については、昨年12月に、店舗名と所在地などが初めて公表された。さらに、大学生が安易なアルバイト感覚で客引きに手を染めている現状に対して、大阪府警察本部と大阪市が大学に直接出向き働きかけを行っていただいたりと、大阪府警察、大阪市が連携しての取り組みも行っているところである。

このような取り組みが功を奏して、特に飲食店の客引きについては、数年前と比べても減少していると感じているところであるが、依然として客引きが多く行われている現状もある。

地元としても、これまで以上に警察、行政と連携を図りながら、夜間パトロールを引き続き行うとともに、違法風俗店をビルに入居させないための検討を重ね、さらには、大阪市の条例に従わず公表された悪質な店舗を広く周知するなど、まち全体として、違法な客引きを許さない気運づくりに取り組んでいくので、是非とも、ご指導、ご協力のほどよろしくお願いする。

放置自転車についても、大阪市で地元の要望を取り入れて、条例改正による規制緩和、撤去作業、駐輪場の設置などを精力的に進めていただいております、この間の取り組みに厚く感謝を申し上げます。一方で、放置自転車の絶対数が多いため、大幅な改善とまでいかないのが実情である。地元としても、引き続き、ミナミ地区で事業を営む者に対し、その従業員や来訪者に駐輪マナーなどを啓発していくよう促すなど、できる限りの協力をしていきたいと考えている。今後も大阪市においては、地元との緊密な意見交換・情報交換により、効果的な自転車撤去や駐輪場設置をよろしくお願いする。

魅力とにぎわいのあふれるまちに関して、まず訪日観光客の現状であるが、大阪観光局の調査では、大阪を訪れる外国人旅行者数は、平成23年では158万人であったのが、一昨年には940万人と約6倍となり、昨年には1,100万人を超え、そのほとんどがミナミを訪れると伺っている。ミナミはまさに大阪の玄関口であり、ミナミの活性化が大阪ひいては関西の活性化につながるし、2020年の東京オリンピックの開催、更には大阪万博が誘致されるとミナミがまさしく世界への玄関口となる。そういった観点からも、「なんば駅前の広場化」は観光インフラとして絶対にやり遂げなければならない取組だと思っている。

現在、大阪商工会議所、府、市、地元がお互いに連携し、「なんば駅前の広場化」の実現に向けて具体的な協議を進めているところであるが、一昨年の「広場化の社会実験」では2,000万円近くの支援金が集まるなど、地元としても大いに期待をしているところである。

昨年3月には、大阪商工会議所が事務局となって「なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本計画」を取りまとめていただき、今後、この計画に基づいて進めていくこととなる。また、大阪のメインストリートである御堂筋は、一昨年に千日前通以南のモデル整備が行われましたが、

今後は千日前通以北のモデル整備についてもスピーディにお願いしたいと思う。

千日前通以北の空間整備が進めば、なんさん通りからなんば駅前、御堂筋さらに道頓堀川までの一帯における人中心の空間が生まれ、地元としても、日本を代表するシンボルとして魅力とにぎわいにつながるものと大いに期待している。

また、戎橋から太左衛門橋間完成以来13年目になるとんぼりリバーウォークは、官民による様々な取り組みを経て、現在管理運営を委託されている南海電鉄の努力もあり、多くの観光客が水辺を歩き、川側への出店やイベント利用も増えた。それ故、水辺空間の風情や美化を維持増進していくために、官民による運用は次の段階へとステップアップが求められているのではないだろうか。

このミナミにおいて、官民一体となって公共の歩行者空間の管理と活用のしくみを確立し、街づくりを進める商店街とともに賑わいを生み出し、世界的規模の安心で歩いて楽しい回遊空間を磨いていけば、東京オリンピックのときにも大阪は世界から注目を集めるに違いない。

昨年この代表者会議の場でも、なんば駅前の広場化についてお願いをしたところ、吉村市長から、力強いお言葉をいただいたが、整備はもとより官民一体となって持続的に活用するしくみを整えることで、より広いエリアにおける魅力とにぎわいのあふれるまちづくりへと波及させていきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

結びに、ミナミの活性化と言うと、どうしても違法な客引きや放置自転車に注意がいきがちであるが、こうしたマイナス要因の除去だけではなく、中長期的なまちの発展を考えた取り組みが重要であると思う。それには、地元の熱意だけでは実現できず、行政、関係機関のお力添えが必要である。行政においては、より一層リーダーシップを取っていただき、事業化に向けての予算化や運用面での思い切った措置を、スピード感をもって取り組んでいただく必要があるのではないだろうか。

また、関係機関においては、それぞれの機関でお持ちのノウハウをご提供していただき、環境整備や支援、規制緩和といった積極的なご協力をお願いしたいと思う。

国内外の観光客が集うシンボリックな上質空間がこのミナミに出現すれば、大阪のイメージも劇的に向上し、大阪全体の活性化に大いに資するに違いない。

これまで以上に、このミナミ活性化協議会が一丸となって、互いにビジョンを共有し、「なんば駅前の広場化」をはじめとした事業を、スピード感をもって取り組んでいきたいと思う。

最後になったが、今後とも行政、警察、経済界、賛同団体の皆様からのご支援、ご協力をいただきながら、ミナミの更なる活性化に向けて活動を推進していくので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## ○ 大阪府副知事

まずは、ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会岡本会長様、福長発起人様をはじめ地域の皆様には、日頃よりミナミの活性化や環境浄化にご尽力を賜っておりますことを心から感謝申し上げます。

関西空港に直結してこの大阪の玄関となっているここミナミが、多くの訪日外国人客で賑わっているということで、肌身で感じていることであるが、先ほど岡本会長様のお話にあったが、先日、大阪観光局から発表されたとおり、昨年、大阪を訪れた訪日外国人客は、過去最高の1,111万人であり、全国で2,900万人ということから、3分の1を超える方が必ず大阪を訪れているところである。府市で「大阪都市魅力創造戦略2020」で、2020年に1,300万人を達成するとい

う目標を立てているが、今年中には達成できるのではないかという位までの勢いにかけている。

この賑わいを確固たるものとするためには、リピーターなどの「ミナミのファン」を増やしていくことが大切であると思う。ミナミの人を惹きつけてやまない魅力を発信し、その魅力を安全に安心して楽しめるまちを持続させていくことが重要と考えている。

このような中、これまで美味しい食事や楽しいショッピングといった商店会のまちの魅力を高めていく「おもてなしの充実」に取り組まれてきた。また、なんば駅前広場における心地よい場所づくりなど、ミナミの魅力を着実に磨いていく様々な取組も進められているところである。

さらに、南署をはじめとした大阪府警察の皆様のご尽力、これに加え、喫緊の課題である悪質な客引きへの公民連携による対策のほか、地域の皆様による熱心な夜間パトロールや放置自転車対策など、まちぐるみで「安全・安心」の強化も図られているところである。

こうした取り組みもあって、先頃、民間シンクタンクが外国人客へアンケート調査を実施された。その結果によると、「難波・心斎橋エリア」であるが、認知率・訪問率・再訪問の意向率がいずれも高い、特に、一度訪れるとまた訪問したいエリアとしてこのミナミが一番である。満足度の高い国際的な観光エリアとしての高い評価が得られているところである。

これもひとえに、先ほど申した「魅力にあふれ」「安全・安心」を実感できる「ええまちミナミ」づくりを着実に進めてこられた皆様をはじめ関係者の方々のご尽力の賜物と、心から敬意を表するとともに、大阪府といたしましても、大阪市と一緒にミナミの更なる発展に取り組んでいく所存である。

最後に現在、大阪府では、「2025年国際博覧会」の大阪誘致に向け、大阪市や経済界などオールジャパン体制で活動を続けている。

とりわけ皆様方のこれまでの格段のお力添え、先日、B I Eの次長様が来られた時にも、おもてなし頂いた。このような格段のお力添えにこの場をお借りして感謝申し上げますとともに、誘致実現には、このような地道な魅力あるまちづくりが重要であると考えているので、今後とも皆様方のご支援・ご協力をお願いします。

## ○ 大阪市長

ミナミ活性化協議会の皆様には、平素から大阪市政にご協力をたまわり感謝を申し上げます。副知事からミナミは世界から多くの方が訪れる街であるという話があったが、その要因について、ミナミは大阪を直接堪能できるエリアであるからだと考えている。ミナミには芝居、食、商売に代表される多くの歴史文化が根付いており、そういった空間はここでしか味わえないものになっているため、世界中の人々もミナミに魅力を感じている。それをより一層引き出していくのが行政の役割であると考えている。そういう意味では、ミナミは関西大阪の拠点として、世界の玄関口としてこれからももっと活性化してさせていかなければならないエリアだと考えている。

そのために必要な取組について、まずは、客引き対策である。私が市長になる以前、市議会議員で大阪維新の会の政調会長をしていた当時、橋下市長に対して、「客引きを禁止する条例は絶対に必要である」という提言を行い、平成26年に全国に先駆けて客引き行為等の禁止条例を定め、ミナミについては禁止地区に指定し、これまで3年が経過した。この間、一定の成果が出ているものの、まだまだ課題があったため、今年度の取組として、指導員を20人から26人に増員した。これについては、「まだまだ足りない」と言われることもあるが、ミナミ活性化のため、客引きを減らしていくためにも指導員の適正な活動が何よりも重要になってくると考えている。

また、指導員の認知度を高めるため、指導員の制服について、もっと目立つようにした方がいいといった意見があるが、地域の皆様と警察とも相談して、効果的なものがあれば、予算がかかっても、制服の変更に取り組んでいくべきだと考えている。

次に、客引き対策の強化についてであるが、店舗や客引きを請け負う業者に対して、立入調査を行い、悪質な店舗、業者については名称や所在地を公表できるように条例を改正した。

その結果、ミナミにおいてはこれまでに30店舗の業者について立入調査を行い、居酒屋3店舗とその経営者、専門業者2社については、悪質ということで公表を行った。また、客引きに手を染める大学生が多いことから、違反者が多い大学については、個別に働きかけをしていくなど、安心、安全のため、客引きに対しては、徹底して厳しい対策を講じていく。

街づくりについては、難波駅前の広場化を何としても実現していきたい。来街者が、南海難波駅という玄関口を出て、最初に目にする空間は、わくわくするものであるべきところ、今はそこが車溜まりになってしまっている。私はこの場所について、人が集える空間にすべきだと考えている。

広場化の実現に向け、大阪市、大阪府、大阪府警察と地域の皆様の間でも様々な話し合いを進めていただいていると伺っている。私はこの件については、必ず実現していきたいと思う。

まず、今年については、設計を完了させたいと考えている。今年、設計をきっちりと行って、来年、工事に着手し、オリンピックが開催される、2020年の春までに、難波駅前広場化を実現する。市民、世界の皆様にオープンにするという計画をしているので、よろしくお願ひしたい。市長としてリーダーシップをもって進めていきたいと考えている。

また、このエリアを面でとらえる必要があると考えている。つまり、難波駅前から、少し歩くと道頓堀や御堂筋があるといったこのエリアを面としてとらえる必要があると考えている。まず、千日前通りから南海難波間の御堂筋の側道を閉鎖して歩ける空間に整備し、それを更に北側に、つまり千日前通りから道頓堀川付近まで伸ばして行くということを2020年までにやり遂げたいと考えている。ただ、この件については、千日前通りの交差点の交通調査が必要である。きちんと交通調査し、例えば、側道を閉鎖した時に左折してくる車をどうするのかという想定をきちんと行ったうえで実施していかなければならない。

それから、道頓堀川について、遊歩道を民間で管理してもらっているが、これについてもマーケットサウンディングを開始する。遊歩道をさらに活性化するために広く考え方、アイデアを募集するというのを進めていく。遊歩道は昔に比べたら活性化しているが、もっともっと活性化していきたいと考えている。

それから水質についてであるが、道頓堀川の水をきれいになりたいと考えている。現在、大阪市では下水道を整備しており、2020年には一部完成予定であるが、非常に高性能のろ過システムを導入している。設備は中浜にあるが、その下水管の水を東横堀川にもってこることにする。そうするとそれは飲めるくらいの非常にきれいな水であるから、東横堀川から道頓堀川に持ってくることによって、道頓堀川の水質を改善していきたいと考えている。

きれいな水質の川の遊歩道が多くの人で賑わう、そして御堂筋の側道については人が集うことのできる空間に、更に難波駅前の車だまりを整備していくといったように、このあたりを面で捉えることでミナミは生まれ変わる。それを2020年までに成し遂げたい。

難波駅前広場については、地域の皆様の協力も必要であるが、警察の協力も何より必要であることから、廣田本部長にもよろしくお願ひしたい。

全員で協力して、大阪難波の中心点、駅前広場というものに必ず道筋をつけていく。そうすることによって、訪れるインバウンドが更に増えると思うし、海外の方だけでなく、多くの日本の方も集える空間になると思う。

飲み屋などで非常に力のあるエリアであるし、玄関口であるし、皆様が集える楽しめる空間にしたいと思っているので、皆様の協力もよろしく願いたい。

ミナミはやはり玄関口として魅力がなければ、通過されてしまう。関空が非常に大きな入口となっている。魅力がないエリアであれば本来は通過されてしまうが、通過されることなく、皆が本当に楽しんでいる。

サイトなどを見ても、インバウンドで一番訪れるエリアがミナミである。そこに魅力があるが、その魅力を更に引き出す、或は民間の皆様の力を引き出すために、行政としてできる限りのことはやっていきたい。

## ○ 大阪府警察本部長

平素から警察行政各般にわたり、ご支援、ご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

先日着任したばかりであるが、15年前に大阪府警の生活安全部長をしており、先ほど岡本会長からお話があったが、当時はカラス族が横行し、けばけばしい風俗案内所が乱立しており、「なんとかしなければ」ということから、風俗案内所については規制をすべく、条例制定のプロジェクトを立ち上げた。その後、大阪府警を離れたが、条例は制定されたということである。

先ほど、15年ぶりに道頓堀界隈を歩いたが、見違えるようにきれいになっていた。

放置自転車も大阪市全体で少なくなっているとのことであり、この間の皆様方のご努力に対して敬意を表したい。

大阪府警の昨年の主な取組みについて説明する。

府警では、ミナミ地区の取組みとして、客引き対策をはじめ、違法風俗店舗の開設を遮断するための対策など、風俗環境の浄化に努めてきた。

その中でも、先ほどから再三話が出ているが、特に客引き問題については、ミナミ地区を訪れる方々の体感治安を悪化させる要因の一つになっており、継続した取組みを推進している。

昨年中は、南警察署で合計228人を検挙したが、南警察署による取締りに加え、府内の警察署の捜査員を投入し、合計8回の客引き一斉取締りを実施した。

これら取締りと併せて、ミナミ地区では、戎橋等において客引きを行っていた未成年のガールズバー従業員らに対する一斉補導を合計5回実施するなど、対策を進めている。

加えて、昨年末にかけては、客引きが多く集まる地区に機動隊員を投入して、制服警察官による警戒活動を強化し、抑止面にも重点を置いた取組みを行っている。

この他にも、大型バカラ賭博店、年少者を働かせていたガールズバーや景品が取れないように細工をして客から多額のゲーム代をだまし取っていた悪質なゲームセンターなど、環境浄化に向け、各種事件の摘発を行っている。

また、府警では、歓楽街において健全なまちの基盤を築くため、違法風俗店を摘発した際には、引き続き、施設を悪用されないように店内の構造設備を解体・撤去させるスケルトン化を図ったり、場所を提供する悪質なビルオーナー等を検挙するなど、違法風俗店等の再入居防止対策を実施している。

地元の皆様におかれても、商店会等の活動を通じて、取締り後に生じた空き店舗に健全な店舗が少しでも入居できるようビルオーナー等に働きかけを行っていただき、まちの健全化・活性化につなげていただければと考えている。

次に、今後の取組方針についてであるが、客引きについては、最近の情勢として、フリーと呼ばれる客引きが増加しているため、引き続き、客引き行為者の取締りと、客引きによって集客を図る店舗そのものに焦点を当てた取締りを強化していきたいと考えている。

警察による取締り、行政による指導だけではなく、地元の皆様には、客引きは許さない、ミナミのまちから客引きを排除するという雰囲気を今後も継続して作っていただきたいと考えている。

また、府警では、対立抗争状態にある暴力団情勢を踏まえ、これら組織の弱体化に向け、資金源となる違法風俗店や薬物密売組織等の取締りを積極的に行い、違法収益の剥奪にも務めていきたいと考えている。

ミナミ地区の治安情勢であるが、昨年の刑法犯認知件数は協議会が設立された平成 17 年当時に比べると半数近く減少しているものの、ひったくりや路上強盗のほか、すりや仮睡者ねらい等の歓楽街特有の犯罪も未だ発生している。

これまで以上に街頭活動を強化し、犯罪の抑止・検挙に努め、ミナミのまちを訪れる方々の安全・安心の確保に努めていきたいと考えている。

最後になるが、今後も引き続き、ミナミ活性化協議会の一員として、歓楽街環境浄化のための諸対策を推進するとともに、魅力とにぎわいに溢れるまちの実現に向けて皆様方との連携を深めていきたいと考えているので、今後ともよろしく願いたい。

## ○ 大阪商工会議所副会頭

岡本会長、福長発起人、地元の皆様の地道なご努力、吉村市長、竹内副知事、廣田府警本部長をはじめとする行政のご支援に改めて感謝を申し上げる。

大阪商工会議所は大阪の成長のために、中期計画「たんと繁盛大阪アクション」を策定している。この戦略の大きな柱のひとつが大阪の訪問客に大阪の良さを知ってもらうということである。

大阪の魅力をさらに向上させるものの一つとして、先程、吉村市長、皆様から話のあったなんば駅前の広場化がある。一昨年の 11 月に実証した社会実験によると、3日間で約 9 万の来訪者があり、実にその 9 割が広場化に賛同しているということであった。多くの府民市民が、ミナミの駅前が居心地の良い広場になることを望んでいるということがわかったのである。

海外からの訪問客の多くは、まずミナミに立ち寄る。つまり、ミナミが大阪の玄関口となっている。そしてそれがふさわしい空間に生まれ変わることが大いに期待されているし、ミナミが東京オリンピック、そして大阪万博の玄関口になることは確実である。

ただいま、吉村市長から大変強い言葉をいただいたなんば駅前の広場化についてであるが、市長はじめ、副知事、府警本部長のご指導ご支援を引き続きお願いしたいところである。

また、大阪商工会議所は、放置自転車の対策にもこれからも取り組んでいく。

さて、ここでご来場の皆様にお願ひがある。2025 年国際博覧会に向けて、この 3 月には博覧会事務局の視察団が来日する予定であるので、まずは、日本、大阪が万国博覧会の開催に向けて、いかに盛り上がっているかということを示す必要がある。このミナミにも視察団の皆様が訪れると思われる。

そこで、2025 日本万国博覧会誘致委員会ではこの万国博覧会に賛同する方々の名刺を集める、万博・名刺サポーターキャンペーンというものを実施している。署名や会員登録をしていただかなくとも、名刺 1 枚をいただくだけで、誘致に賛同していただいたものである。本日、この会場に名刺を入れる箱を用意しているので、是非お帰りの際には、万国博覧会開催に向けての熱き 1 票をよろしく願いたい。

最後になったが、ミナミ活性化協議会が、ミナミの魅力向上のためにますます活躍されることを祈念して、私からのあいさつとさせていただきます。

## ○ 一般社団法人関西経済同友会常任幹事・事務局長

ミナミの環境浄化、賑わいに関して、地元、行政の方々、この13年間ご努力されたことに関して、多大な敬意を表したい。平成17年5月、関西経済同友会は、「大阪ミナミの浄化と活性化に向けて」という提言をしたが、その頃の状況を思い出すと隔世の感がある。

当時は客引きが多かったし、ひたたくりも全国ワーストワンという状態であったが、この間、皆様のご努力があり、信じられないくらいの改善だと深く感謝する。

私どもは、ミナミ活性化協議会に入れてもらっているが、直接的な深い動きができていないわけではない。その中で、これから皆様と協力できるのであれば協力していきたいと考えている。

色々な課題が話に出ていたが、私からは、インバウンドについていくつか提案したい。海外に行ってみて感じるのは、海外の人は本当に日本人のことが大好きだということである。少し見づらいかも知れないが、今日、私はブルーのシャツにブルーのネクタイをつけている。このネクタイは、寿司ネタが柄になっており、「タコ」などがプリントされている。これを買ったのはアメリカの田舎町である。それくらい日本文化というのは海外で浸透しているのである。

もちろんアジアの方も日本のことは大好きなので、これからますます世界の方々が来られることになると思う。また、先程から、万博の話が出ているが、私どもは万博に加えて、IRも推進しているので、誘致に成功すれば、もっと多くの方々が大阪に来られるようになると思う。

更に客の質も変わってきている。団体客から個人客となり、プロモーションの在り方もこれから大きく変わってくると思う。

その中で、先ほどから、なんば駅前の広場化の話が出ているが、これは本当に世界の今の潮流に沿った動きだと思う。人重視で街をつくるというのは、21世紀の街づくりの中では主流になっている。効率を重視するような旧来型のまちづくりは、大きく変わってきている。

例えば、香港ではウォーターフロントを作る時に道路を地下に埋め、人間が歩けるスペースにした。少し前になるが、ボストンでは高速道路を地下に埋め、その上をマンションではなく、広場にして人が集えるようにした。そのおかげで、色々な地区の行き来がよくなり、これまであまり開発されていなかったウォーターフロントが本当に賑やかになり、たくさんの企業が進出してくるようになった。人を中心に街をつくるということは、非常に大きな効果があるので、なんば駅前の広場化について私たちは大賛成である。

その他、例えば、個人客がたくさん来訪することになるので、ユニークベニューと言うか、今でもミナミは十分ユニークではあるが、これまでのモノ消費からコト消費に変わっていく中で、どうやってここでコト消費を浸透させていくのかという課題があると思う。

例えば、マカオではマカオタワーがあり、その上からバンジージャンプをしている。当然、危ないので、徹底的にスーツで固めて、ヘルメットもつけて、飛び方を教示して、危険のないようにしてジャンプさせるが、料金が何万円とかかる。それを皆が喜んで、並んでまで飛んでいる。

大阪では例えば、先程市長も発言されたが、道頓堀川がきれいになるから、客にクリーニングしなくてもいいように特別スーツを着てもらって、飛び込んでもらって何万円というお金をいただく。それを動画で海外に発信し、次から次へとお客さんが来る。

あるいは、ミナミといえば、笑いである。人間というのは、「楽しいから笑う」のではなく、「笑うから楽しい」という研究結果もあるので、「ミナミに来たら何故かみんな笑っているぞ」というような雰囲気を作る、など色々なことが考えられる。そういったユニークなことを考えていく時期に来ていると思う。

更に、日本が決定的に遅れているのが、決済の電子化である。海外から来る人は、現金をほとんど使わない。団体客から個人客になると海外からの予約は、インターネットになってくる。だから、席の予約も予めインターネットでやって、店を出る時には既にインターネットで決済が終

わっている、そんな時代がやってこようとしている。海外の方が、日本に来ると「なんで現金しか使えないんだよ、遅れている国だね」と感じており、ここは早急に変えていかなければならないと思う。

そういう点では、ベンチャー企業との結びつきも考えていかなければならないと思う。これまで、関西経済同友会もあまり取り組んでこなかったが、ベンチャー拠点とのネットワークや、海外の知見などについてのノウハウを色々と貯めているので、これから「こんなことやってみたい」というのがあれば、一緒に検討していきたい。

## ○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人

平素はミナミ地区の環境浄化のため、関係団体には積極的な取組をしていただき感謝を申し上げます。

特に、客引き対策については、警察、大阪市が中心となって、取組を強化していただいております、一時期に比べて、かなり改善していると感じている。中でも居酒屋等の客引きについては、大阪市が平成 26 年に条例を制定し、これまで指導員の体制強化や立入調査権の付与などの権限強化を行い、一定の効果が見られている。しかしながら、最近では客引き行為者のうち大学生、少年の客引きが増えてきている。客引きについては現在も、問題は多いと考えている。

ここで大阪市の客引き指導員に関して、大阪市に大きく 2 点の要望がある。

1 点目は、更なる指導員の体制強化についてである。何人ならばいいかというものではないが、一人でも多くの指導員の増員を強く願います。

2 点目は、客引き指導員の制服についてである。現在の制服では、指導員がどこに配置されているのかわからない状況であると思う。折角、体を張って頑張っているのに、「誰かから見ても指導員である」、「ここに指導員が配置されている」というのがわかるような制服に変更するなどして、現場での存在感を高めていただきたい。

間もなく、条例制定から 5 年を迎えるにあたって、地元の要望を参考にしながら検討をしていただきたいと思う。

最後にミナミをとりまく環境は、客引きだけでなく、先日、全国ニュースでも報道された悪質ゲームセンター等の新たな問題もある。この事件の検挙は、ミナミの安心安全のために大きな成果があったと感じている。

このような新しい問題にも各種団体が連携して取り組んでいき、「みんなでつくろういい街ミナミ」を合言葉に今後も頑張っていきたい。

## 5 共同アピールの採択

意見交換後、出席者全員一致で「第 13 回ミナミ活性化協議会代表者会議共同アピール」を採択した。

## 6 啓発イベント、パレード

代表者会議終了後、相合橋において啓発イベントを行い、道頓堀通（相合橋～御堂筋の間）でパレードを実施した。

## 第13回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、平成17年の設立より、地元・行政・経済界が連携したオール大阪体制を確立し、誰もが安全で安心して楽しめる魅力あふれるミナミのまちの実現に向けて、風俗環境の浄化に向けたパトロール活動、違法風俗店等の取締り、違法な客引きに対する規制、なんば駅前の広場化に向けた社会実験や、御堂筋活性化事業など多くの取組を推進しているが、これらの取組によって、ミナミのまちは、今や大阪の玄関口として、内外からの多くの来訪者が集う、賑わいのあるまちとなっている。

これは、まちの伝統・文化・環境を守りつつ、社会経済情勢にも対応して、まちの安全・安心の維持向上、まちの魅力の創出・発信にたゆみなく取り組んできた賜物である。

2025日本万国博覧会の大阪・関西での開催が実現すれば、更に多くの来訪者が予想される中、この賑わいを継続・発展させ、世界に誇れる安全で安心な魅力あふれるミナミのまちを実現するため、地元・行政・経済界が一丸となって、今後も「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、次の2点を目標に掲げて、強力に取り組んでいくこととする。

### 一、『安全安心で、快適なまちの実現に向けて』

違法な客引きの取締りや行政指導、客引きを許さないまち全体の気運の盛り上げ、街頭における犯罪抑止対策や放置自転車対策、ビルの健全化に向けた対策などを継続し、根源的なまちの浄化に取り組み、安全安心かつ快適に楽しめるまちづくりを推進する。

### 一、『魅力とにぎわいのあふれるまちの実現に向けて』

ミナミならではの魅力の創出・発信を図るとともに、人中心の新たなシンボル空間を生み出す「なんば駅前の広場化」を実現し、食や文化を楽しむ風情が息づき、訪れる誰もが魅力を感じられる、にぎわいあふれるまちづくりを推進する。

平成30年1月27日

### 【ミナミ活性化協議会】

大阪府知事	松井一郎
大阪市長	吉村洋文
大阪府警察本部長	廣田耕一
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福長徳治
大阪商工会議所会頭	尾崎裕
一般社団法人関西経済同友会代表幹事	鈴木博之

### ～賛同団体～

ミナミまち育てネットワーク  
公益社団法人関西経済連合会  
公益財団法人大阪観光局